

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2014年夏の便り号 (通算第2号)
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108
ホームページは [亀井たくま](http://www.kamei-takuma.com) で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.com



ごみリサイクルの推進! 市役所の接客力向上を! 性的マイノリティー支援・平和行政の推進を!

市民の皆様、お元気ですか! いつも市政へのご協力ありがとうございます!
6月定例議会が終了しました。亀井たくまは、連続13回目(毎回必ず登壇!)の一般質問に登壇しました。今回は市民の皆様からのご意見・ご要望をもとに、4つのテーマについて質問(60分・36問)いたしました。質問内容を抜粋してお知らせします。
今後も初心を忘れずに活動を強めてまいります。どうぞお見かけの際は気軽に声ををおかけください。よろしくお願ひ申し上げます!

1 ごみ減量・リサイクルの推進について (環境局)

- Q ごみの不適正排出が懸念されているが現状と対策は。
A (環境局長) ごみ手数料徴収制度導入時(2月調査)は、違反率(正規のごみ袋を使用していないもの)は8%であったが、5月の調査では2%まで減少している。不適正排出は、町内自治会等の協力や「収集せず取り残すこと」により注意喚起を行っている。また不適正排出が多いごみステーションでは、環境事業所職員が違反ごみを収集・開封調査し、違反者を特定し文書指導を行うなど、対策を強化している。
- Q 家庭ごみは減っているが、事業系ごみの削減対策は。
A (環境局長) 食品関連事業者の「生ごみ資源化」促進、清掃工場での搬入物検査等の実施を行ってきたが、今年度は事業用大規模建築物への指導・立ち入り調査件数を152件から200件に増やすことや、古紙資源化の啓発強化などを進めていく。
- Q 「使用済小型家電リサイクル」の回収拠点の増設を求めるが、どうか。
A (環境局長) 使用済小型家電(21品目)は、2月から各区役所など12か所でボックス回収している。5月からは電気量販店4店舗にも回収場所を拡大した。今後は、区民まつりなどのイベント会場において回収するほか、来年1月~3月には限定的・試験的に21品目以外の使用済小型家電も対象に回収を予定している。
- Q ペットボトルのキャップの分別回収をもっと取り組んでどうか。回収場所の増設を求めるがどうか。
A (環境局長) 市と社会福祉協議会でペットボトルキャップの回収(エコキャップ運動)に取り組んでおり、市民の方々の協力により回収量も増加し、25年度にはエコキャップ推進協会から表彰も受けている。現在、市役所・区役所など16か所に回収箱を設置しているが、今後、回収場所の増設を進めていく。
- Q リサイクル推進に向け、生ごみ・雑がみの資源化、市民の意識啓発にどう取り組むか。
A (環境局長) 引き続き、わかりやすい広報を行っていく。市政より8月1日でごみ減量についての特集を掲載していく。ごみ減量に関する市民説明会・講習会の開催や、市内中学校の生徒会等において雑がみの分別収集の実施等の新たな取り組みを行い、多くの市民に周知・啓発活動を行っていく。ごみ減量を進め、今年度中に焼却ごみ3分の1削減を達成させていきたい。



(1)

亀井はこう考える! ごみ減量・リサイクル推進に向けての環境整備を!

2月より、家庭ごみ手数料徴収制度がスタートしましたが、市民の皆様のご尽力により、前年同期と比べて約9%のごみ削減の効果が出ていることがわかりました。しかし、引き続き、不法投棄や不適正排出等が懸念され、地域の町内会・廃棄物適正化推進員の負担が増えています。不法投棄・不適正排出対策の強化を求めました。また、民間企業・事業所におけるごみ減量対策も強く求めました。
現在、手数料収入によって、「資源物の祝休日回収」「高齢者・障がいのある方の世帯のごみ出し支援事業」「使用済小型家電回収」等の施策が拡充されていますが、さらなる制度の充実を求めるとともに、「使用済小型家電」「ペットボトルキャップ」の回収場所増設を提案しました。(→詳しくは4面へ!)
ごみ削減には市民の皆様のご理解・ご協力が今後も不可欠です。ごみ減量・リサイクルしやすい環境整備を今後も求めてまいります。

2 市民に親しまれる市役所づくり・接客力向上について (総務局)

- Q 市役所職員の「接客力向上」に向けたこれまでの取り組みは。分析は。
A (総務局長) 職員ひとりひとりが千葉市役所の代表という自覚が重要と考え、新規採用・中堅職員等には必修研修として、希望する職員にも「接客ビジネスマナー研修」を実施している。また、平成24・25年度に、区役所のサービス向上のため、窓口対応・電話対応の調査および研修を行ってきた。現在、各区で研修と改善策を検討し、接客の向上に努めている。
- Q 市役所・区役所等へ来た市民へあいさつをもっとすべきではないか。
A (総務局長) あいさつは接客の基本であり、来庁したお客様が気持ちよく円滑に用件を済ませてもらうために、コミュニケーションの第一歩として重要だと考えており、今後も積極的に推奨していく。
- Q 職員の名札に目標やモットー、セールスポイントなどを書いてはどうか。
A (総務局長) 目標やモットー、セールスポイントを書くことは有用であり、今後、導入を検討していく。
- Q 窓口対応では、「おつかれさまでした」からなるべく「ありがとうございました」に変えてはどうか。
A (総務局長) 窓口対応では、「おつかれさまでした」「失礼いたします」「ありがとうございました」等の言葉を使用しているが、お客様の用件や状況に応じて、あいさつを使い分けている。
- Q マナーアップ週間・月間など、接客力向上に向けて、具体的な取り組みをしてはどうか。
A (総務局長) さりなる職員の意識改革、市役所全体の接客力の向上に向け、キャンペーン等を検討していく。
- Q 「市民に親しまれる市役所づくり」に向けて、今後の取り組みは。
A (総務局長) 研修の改善充実に努めるとともに、市民満足度向上のために各区で行ってきた接客調査に加えて、今後は「建物の案内表示のわかりやすさ」「窓口サービス全体の評価」など、総合的な観点から調査を実施・検証し、対策の実践を進め、市民満足度の向上に努めてまいります。

亀井はこう考える! 感じの良いおもてなしで、市民に親しまれる市役所へ!

昨今、「昔に比べて市役所も親切になった」というご意見も頂戴しますが、「まだまだ感じが良くない」というご意見をいただくことが多々あり、今回、「接客力向上」の質問を行いました。
「あいさつ」「態度」「言葉遣い」に課題があるとの指摘がされていることから、「市民へのあいさつの推進」「名札を活用した職員ひとりひとりの顔が見える改革」「ありがとうとすぐに言える接客改革」「マナーアップキャンペーンの開催」など具体的に提案を行いました。「いい仕事」にプラスして「気持ちいい接客」「おもてなしの改善」で、「市民が来てよかったと思える市役所」に変わってほしいと思っています。

3 性的マイノリティー (LGBT) の支援について (市民局)

- Q 性的マイノリティーの方々への支援が重要だが、相談体制の充実などどのように取り組むか。
A (市民局長) 人権問題として認識しており、相談体制充実や理解促進に取り組んでいる。市では、「性同一性障がい」に関しての一時相談窓口があるが、平成28年度を目途にLGBTの専門相談窓口の開設を目指していく。
- Q 市役所内での理解促進にどう取り組むか。広報・頒布物の掲示をすべし。
A (市民局長) 性的マイノリティーについて、25年度からは当事者を講師として勉強会を開催し、職員の理解促進に努めている。今年度も勉強会の開催、広報・頒布物の掲示・配布について検討していく。

- Q 学校現場における理解促進の取り組みは。広報・頒布物の掲示等の取り組みをしては。
A (教育次長) 性的マイノリティーに関して、今年度から専門の講師を招へいし、管理職対象の研修を計画している。広報・頒布物については検討してまいります。
- Q 一般市民への理解啓発の取り組みは。市政だよりの活用は。
A (市民局長) 25年度、男女共同参画センターにて、当事者の方を講師に市民向けの講座を開催したが、今年度も同様の講座を開催する予定であり、周知していく。市政だよりの活用は今後、検討してまいります。

亀井はこう考える! 性的マイノリティーにもやさしい千葉市へ!

性的マイノリティー(LGBT=レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、性同一性障がい)の方々には20人に1人も言われており、近年、テレビや新聞等でも取り上げられる機会が増えていますが、まだまだ社会の無理解・偏見も多く、自殺のリスクも高いとされています。今こそ支援施策と理解促進を急がねばなりません。6月13日発表の文科省全国調査でも、全国の小中高生で少なくとも約600人の性同一性障がいの子どもたちがいることが明らかになり、学校での取り組みも重要で、相談体制の充実、市役所・教育現場での理解促進と市民への啓発事業について質問・提案を行いました。
「千葉市はLGBTにもやさしいまちを目指していく」ことを発信することが、今、当事者に寄り添う大きな一歩につながると考えています。

4 平和行政の推進について (市民局)

- Q 千葉市は「平和都市宣言」をしているが、これまでの平和に関する事業の取り組みは。
A (市民局長) 戦争の悲惨さや平和の尊さについて、子どもたちを含め、広く市民に啓発するため、千葉空襲パネル展、戦跡めぐりウォーキング、平和の折鶴送呈事業、戦争体験者の講演会、戦争体験者の証言DVDの制作・貸し出しなどを行っている。また「平和首長会議」に加盟し、県内の他の自治体にも働きかけを行ってきた。
- Q 戦争記憶が薄れていく中で、本市に関わる戦争記憶を語り活動についてどのように取り組んでいるか。
A (市民局長) 昨年度は、「長崎被爆体験・千葉空襲被災体験講話」として、被災された語り部からの講演を実施した。また、市内小中学校8校でも長崎で被爆した方からの講話を実施している。今後も事業を進めていく。
- Q 「千葉(七夕)空襲」等、本市の戦争記憶の証言保存の取り組みは。さらに積極的に保存すべきでは。
A (市民局長) 平成17年度に千葉空襲等を経験した市民の証言を記録したDVD「平和の道しるべ」を作製し、貸し出しも行っている。23年度には300枚を追加制作し、市内全ての学校(小・中・高・特支)に配布している。
- Q 子どもたちの戦争や平和に関する学習の取り組みは。
A (教育次長) 小・中学校の社会科学習において、写真や映像を使用し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて実感できるように工夫し、指導している。【今年も反核平和の火リレーで千葉市内を走りました】
- Q 戦争を知らない世代が増え、「戦争」について想像することが難しくなっているように思うが、「原爆の絵」のような体験者が描いた「絵」の活用をしてはどうか。
A (市民局長) 現在、「千葉市空襲パネル展」を毎年開催し、そのような絵や写真を活用しており、昨年度も新たに原爆・被爆写真や解説入りの絵のパネルを導入している。今後も資料の充実を図ってまいります。



【今年も反核平和の火リレーで千葉市内を走りました】

亀井はこう考える! 戦争を語り継ぎ、先人が築いた平和を守りたい。

千葉市においては、戦争末期の昭和20年6月10日、7月7日に大規模空襲(千葉空襲・七夕空襲)を受け、死傷者1595名という大きな被害を受けました。戦後69年が経ち、戦争を経験した世代も少なくなり、当時の戦争の記憶が薄れていく中で、歴史の継承が重要と考えます。市では、平成元年2月に平和都市宣言が行われ、現在、千葉空襲パネル展などの平和の取り組みが行われています。歴史の継承のため、千葉空襲の証言・記録保存、戦争体験者の証言保存、学校における平和学習、理解しやすい展示内容の工夫などについて質問・提案を行いました。
来年は千葉空襲や終戦から70年です。先人の犠牲の上に今の平和と繁栄があることを忘れてはなりません。そしてこれからも平和な世の中を守っていかなければと強く心に誓いました。

議員定数、ついに4名削減案成立!

中央区も11名⇒10名に!

6月議会では、市議会議員定数を54名から50名に削減する議案が賛成多数(共産・市民ネット)により成立しました。中央区も花見川・若葉の各区で1名ずつ削減されます。年間約8000万円の節約となります。
私はこれまで「議会改革」を訴えてきましたが、これもその一環であり、議員こそがもっと競争し、能力を高めていかなければいけない」と常々思っています。中央区も次回選挙から1議席減となり、議員1人1人の責任も重くなります。私もしっかり精進してまいります。

ペットボトルキャップがワクチンに!

~分別回収でごみ減量&国際貢献を~

現在、ペットボトルのキャップは可燃ごみでも排出できますが、市役所や区役所など16か所で回収しています。民間のお店や学校等でも分別・回収しているところもあります。回収されたキャップは、NPOを通じて、売却益が世界の子どものワクチン費用に役立っています(約800個のキャップで1人の子どものワクチン代になるそうです)。平成25年度は、千葉市で1,347万個回収し、15,660人分のワクチンに役立ちました。ぜひ分別回収へのご協力を願ひいたします!



ホームページが新しくなりました! ぜひご覧ください!

<http://www.kamei-takuma.com>

日々の活動・思いなどを掲載しています!
この議会報告ニュースのバックナンバーや議会質問の録音映像も見られます!

市政へのご意見は。

TEL/FAX 043-255-8108 携帯電話 090-3694-4173
事務員もおらず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。
携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします!

メール DQG06110@nifty.com お手紙も大歓迎です!



フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています! [亀井たくま](#) で検索を!

亀井たくまのプロフィール

1980年生まれ。椿森出身・在住。34歳。草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営研究科修了。行政書士。社会福祉士。椿森3丁目・5丁目役員。千葉市スポーツ推進委員。院内小スポーツ振興会委員、椿森中青少年育成委員会委員。青少年相談員。ホームヘルパー2級。防災士。保健消防委員会委員。大都市・防災対策特別委員会副委員長。2007年の市議選は21票差で落選。2011年、5622票を頂戴し当選。日々修行中です!
趣味は明治~昭和の音楽です。(介護施設、老人会、自治会等で懐メロの演奏・茶話会のボランティアができます! 詳しくはお電話ください!)好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎です。

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。
郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!